2018年11月9日から11月12日にかけて開催されたThe 2nd Tri-U Soochow-Saga-Daegu University International Joint Symposium に参加しそれぞれ研究発表ならびに中国蘇州大学、韓国大邱大学および本学の3国3校による国際交流を行いました。参加者は、教員4名(花本猛士、成田貴行、坂口幸一、大渡啓介)および各指導学生4名(福田優衣、岩本結衣、林莉緒菜、龍美月)の8名でした。

11 月 9 日(金)の午後に福岡空港を発ち、上海国際空港に到着後、主催である蘇州大学に準備いただいたバスに乗り込み 3 時間かけて宿泊先に到着しました。翌日、8 時半から蘇州大学化学、化学工学および材料科学部の Jian Lin YAO 学部長による歓迎の挨拶の後、韓国大邱大学自然科学部の Young-Joon Cho 学部長と本学花本猛士機能物質化学科長によるお礼の挨拶がありました。

セミナー期間中に蘇州大学から 6 件、大邱大学から 5 件、本学から 4 件の教員による口頭発表が行われ、活発な議論が交わされました。また、初日の夕方には 3 校の学生による各 1 分 52 件のフラッシュプレゼンテーションを行った後、ポスター発表が行われました。

佐賀大学と大邱大学の国際パートナーシップとして 2008 年 1 月に始められた本会は昨年 12 回大会より新たに蘇州大学を迎え、3 校合同の Tri-U International Joint Symposium として装い新たに開催され、今回第 2 回目となりました。学生数 2.1 万の韓国大邱大学に加え、学生数 4.9 万の蘇州大学は学生もさることながら、教員の研究レベルが高く、本学からの参加者は一同に刺激を受けました。次回は本学開催でより引き締まる思いでいます。

(坂口)



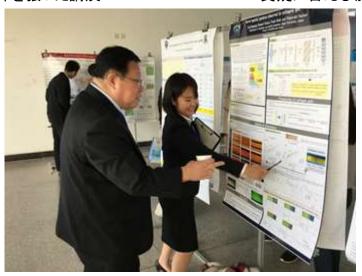
佐賀大学機能物質化学科代表として花本先生のお礼の挨拶



成田先生の体を張った講演



質疑に答える坂口先生



大邱大学学部長からの質問に答える岩本さん



参加者全員による集合写真